

令和6年度 学校評価報告書

丹波篠山市立味間小学校

校長 足立 真一郎

1 学校教育目標等

夢や目標を持ち、将来にわたって学び続ける児童の育成
～大好き自分・大好き友だち・大好き味間～

2 今年度の重点目標

- 1 安全で安心して学べる教育環境（学校・学年・学級）づくりに取り組む。
- 2 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む。
- 3 確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する。
- 4 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る。
- 5 学校・家庭・地域の連携を深め、「地域とともにある学校づくり」を探求する。
- 6 全教職員の協働体制整備と資質能力の向上に努め、特別支援教育の充実を図る。
- 7 自分の健康や体力に興味をもち、体育やスポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。
- 8 働きやすい職場環境づくり、教職員の資質能力の向上及び教職員組織の活性化を図る。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

| 分野 | 評価項目 | 達成状況 | 取組状況・改善方策 |
|--------|--|------|---|
| 学習指導 | 安全な生活習慣や態度を身につけ、危険予測・危険回避能力を高める安全教育を進める。 | B | 研究指定を受け、講師を招いた全教員参加の授業研究を3回実施し、授業改善について全校での共通意識のもと推進した。次年度、安全教育の継続と教育課程全体での充実につなげていきたい。 |
| | 児童が、主体的、対話的で深い学びができるよう指導方法を工夫している。 | B | 児童評価では昨年度より肯定的な評価が増えた。これからもグループ学習の充実や伝えたいと思える発問や問いかけの工夫、学び合いたくなるような授業改善を行う。 |
| 生徒指導 | 問題行動に対して早期に組織的な対応に努め、楽しく明るい学校生活を送れるよう指導を行なう。 | A | いじめアンケートや学年会議による早期発見・早期対応により解消できている。豊かな人間関係づくりや自ら考え、自己選択・自己決定ができるよう支援してきた。また、不登校支援の取り組みが充実した。 |
| | 専門家(SSWR・SC・心理士等)との連携による児童理解と組織的な対応の充実を図る。 | A | 専門家を交えたケース会議により、組織的な対応による環境調整など効果が上がった。また、教育相談の助言を生かした児童理解や指導方法の工夫改善ができている。 |
| 特別支援教育 | 校内支援体制の整備や個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用の充実を図る。 | A | 特別支援コーディネーターを中核に、組織的に取り組み、児童一人一人に応じたきめ細かく適切な指導及び必要な支援を行うことができた。内容の検討とPDCAサイクルでの改善を行う。 |

| | | | |
|-----------|---|---|---|
| 保護者地域との連携 | 授業や教材の開発に地域の人材など外部人材の活用を図る。ふるさと教育：地域の人・も地域人材の活用を図る。 | B | 従来の味間茶などのふるさと学習や読み聞かせに加え、三世代交流や保護者に講師としてお話いただいたキャリア教育、地域学習を新たに取り組むことができた。継続と拡充に努める。 |
|-----------|---|---|---|

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な目標から児童、教職員、地域、学校全体の観点からバランスの良い目標になっていると思う。 ・児童が楽しい学校生活が送れている教育環境を作っていただいている。 ・アンケート結果、児童・保護者の評価が、9割以上あり、楽しい学校生活が送れていて大変良い。 ・重点項目の8つについては、それぞれの今年度の取り組みについて自己評価をもう少し具体的にしてもらいたかった。次年度の継続課題を今年の活動の反省から発表しても良かったのではないかな。 |
|---|

(2) 総合的な評価（意見・感想）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・児童数が多い中、子どもたちに合った教育や心と身体を育む取組をたくさん学校生活に取り入れている。 ・児童が楽しく学校に行っていると保護者も安心して学校に送り出せるので大変いいことだと思う。 ・学校として努力されている。学校運営委員として話し合いに参加させていただいていますので学校、保護者、地域の話し合いの場があったらいい。 ・学校の活性を感じる。オープンな教育方針を遂行して、学校行事も大変うまくいっていると思う。 |
|---|

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

| 分野 | 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価 |
|-----------|---|
| 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・8割近くの児童が「すすんで発表したり、話し合ったりしている」と回答しており、安心して発言できる雰囲気づくりや子ども同士の学び合いができていると考える。 ・「授業がよくわかる」の児童評価が、前年と比べ数%評価が下がっており、今後は児童にとって「分かる授業」を目指し教育者の授業力向上に取り組んでほしい。 |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生と児童の会話をお聞きする中で、子どもにまず考えさせる言葉をよく耳にします。自分の意見や考えを伝えるのが苦手な児童も多いのでとてもよい声かけと思う。続けていただくことで少しずつ自分の意見が言える子どもになると思う。 ・「いじめの減少」について、保護者の評価が15%程度上昇している。これは、学校評価にある専門家を交えた会議による組織的な対応による評価であり、今後も継続してほしい。 |
| 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に指導計画を作成していると伺い驚いた。特別支援学級のことをもっと保護者が理解し、子どもに合った教育ができるように支援体制の構築と並行して保護者の考えも変えていく必要があると感じた。 ・前年度に比較して、保護者の評価が83%弱と上昇しており、取り組みが評価される。 |
| 保護者地域との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流や地域を知る取り組みも多く、今後も継続して欲しい。子どもたちからもたくさんの「楽しかった。」の感想を聞くことができた。PTAとして、保護者との交流も今後考えていきたいと思う。 ・味間小学校の特徴①児童が多い②多くの人が住んでいる③市の窓口（駅）がある。協力願える人の分野別リストを作ってはどうか。児童が味間を知ることで味間をどうするか意見を言える人になってほしい。 |